



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 クラリオン株式会社

コード番号 6796 URL <http://www.clarion.com>

代表者 (役職名) 取締役社長兼COO

(氏名) 川本英利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室本部長

(氏名) 新保邦彦

TEL 048-601-3700

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	47,154	8.1	1,069	—	959	—	442	—
26年3月期第1四半期	43,603	△4.7	△417	—	△772	—	△987	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △145百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 752百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	1.57	—
26年3月期第1四半期	△3.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	124,380	27,734	22.2
26年3月期	125,384	27,881	22.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 27,569百万円 26年3月期 27,715百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
平成27年3月期の配当につきましては、業績等を考慮して検討いたします。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	4.5	7,000	33.8	6,300	41.8	4,700	40.6	16.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) — 、 除外 —社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	282,744,185 株	26年3月期	282,744,185 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	836,928 株	26年3月期	830,750 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	281,909,879 株	26年3月期1Q	281,932,516 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 .....	3
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税による駆け込み需要の反動により一時的に減速しましたが、徐々に持ち直しつつあります。海外におきましては、中国や新興国での成長の鈍化はありますが、米国の拡大継続と緩やかながらも欧州での改善がみられ、世界経済全体では緩やかな回復が続いております。

当社グループの関連する自動車業界は、日本国内では消費税増税後の反動減があったものの、6月の新車販売は軽自動車がかん引して、3ヶ月ぶりに前年同期比増加となりました。また、米国の新車販売は引き続き好調を維持しております。

このような環境のもと、当社グループはカメラを中心とした成長事業を強化するとともに、グローバル視点での事業運営強化と構造改革等によるコスト改善を継続して、売上・収益の拡大に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間における連結業績の概要は次のとおりであります。

消費税増税の駆け込み需要の反動により、国内自動車販売が4～6月累計において前年同期比減少している状況であります。当社グループにおきましては、日本や欧州におけるOEM（相手先ブランドによる生産）市場向け売上の前年同期比増加を主要因とし、連結売上高は前年同期比8.1%増収の471億54百万円となりました。増収及び原価低減に努めました結果、連結営業利益は10億69百万円（前年同期は4億17百万円の営業損失）、連結経常利益は9億59百万円（前年同期は7億72百万円の経常損失）、四半期純利益は4億42百万円（前年同期は9億87百万円の四半期純損失）といずれも増益になりました。

セグメント別の業績概要は次のとおりであります。各セグメントの売上高は外部顧客に対する売上高を記載しており、各セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失であります。

#### (日本)

当セグメントの売上高は前年同期比3.9%増収の217億33百万円、営業損失は1億39百万円（前年同期は9億99百万円の営業損失）となりました。

自動車販売は消費税増税の影響により前年同期比減少となりましたが、そのような状況におきましてもカメラ関連製品販売が増加し、OEM市場向けの売上が前年同期比増加となりました。増収及び原価低減に努めた結果、営業損失が改善されました。

#### (米州)

当セグメントの売上高は前年同期比2.8%増収の153億5百万円、営業利益は同8.9%減益の3億26百万円となりました。

OEM市場向けの売上が伸び悩みましたが、中米連結子会社における日立グループ会社からの自動車部品生産受託規模が拡大し、また、前年同期比円安ドル高影響等もあり増収となりました。しかしながら、販売構成比の変化により、減益となりました。

#### (欧州)

当セグメントの売上高は前年同期比69.7%増収の46億34百万円、営業利益は2億37百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

欧州経済の底打ちが感じられるなか、OEM市場向けの売上は回復基調にあり、また、前年同期比での円安ユーロ高も寄与し、増収増益となりました。

#### (アジア・豪州)

当セグメントの売上高は前年同期比8.2%増収の54億80百万円、営業利益は7億66百万円（前年同期は78百万円の営業利益）となりました。

前年同期に好調であったタイでのOEM市場向け売上が減収であったものの、底堅い中国自動車販売の環境下で中国国内でのOEM市場向け売上が伸び、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産が1,243億80百万円であり、前連結会計年度末より10億4百万円減少いたしました。このうち、流動資産につきましては707億16百万円であり、前連結会計年度末より2億20百万円減少いたしました。固定資産は536億64百万円であり、前連結会計年度末より7億83百万円減少いたしました。主に有形固定資産減少によるものです。

負債につきましては、966億45百万円であり、前連結会計年度末より8億57百万円減少いたしました。

純資産につきましては、277億34百万円であり、前連結会計年度末より1億46百万円減少いたしました。利益剰余金が増加したものの、円高により為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、72億21百万円（前年同期末残高は70億62百万円）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、たな卸資産の増加はありましたものの、仕入債務の増加等により、19億74百万円の収入（前年同期は3億14百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主に無形固定資産の取得等により、9億53百万円の支出（前年同期は11億71百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、リース債務の返済等により3億13百万円の支出（前年同期は2億41百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、平成26年5月9日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

①連結の範囲の重要な変更

Clarion Manufacturing Corporation of the Philippinesは、当第1四半期連結会計期間において、清算終了したため連結の範囲から除いております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

当該事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

税金費用につきましては、主に当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当該事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,486	7,221
受取手形及び売掛金	29,638	29,191
商品及び製品	12,474	13,193
仕掛品	1,170	1,215
原材料及び貯蔵品	7,474	8,312
その他	13,829	11,702
貸倒引当金	△136	△120
流動資産合計	70,937	70,716
固定資産		
有形固定資産	26,344	25,503
無形固定資産		
のれん	2,736	2,507
ソフトウェア	16,519	16,890
その他	1,400	1,425
無形固定資産合計	20,655	20,823
投資その他の資産	7,447	7,337
固定資産合計	54,447	53,664
資産合計	125,384	124,380
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,534	25,647
短期借入金	12,482	40,333
未払法人税等	1,066	1,066
賞与引当金	2,221	1,225
製品保証引当金	573	669
その他	15,677	14,062
流動負債合計	55,557	83,004
固定負債		
長期借入金	28,104	102
役員退職慰労引当金	129	129
製品保証引当金	422	427
退職給付に係る負債	9,381	9,355
その他	3,908	3,625
固定負債合計	41,946	13,641
負債合計	97,503	96,645

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,100	26,100
資本剰余金	2,669	2,669
利益剰余金	1,555	1,997
自己株式	△129	△130
株主資本合計	30,195	30,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	687	760
繰延ヘッジ損益	1	△5
土地再評価差額金	1,019	1,019
為替換算調整勘定	△3,987	△4,686
退職給付に係る調整累計額	△201	△155
その他の包括利益累計額合計	△2,480	△3,066
少数株主持分	165	164
純資産合計	27,881	27,734
負債純資産合計	125,384	124,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	43,603	47,154
売上原価	37,904	39,852
売上総利益	5,698	7,301
販売費及び一般管理費	6,115	6,232
営業利益又は営業損失(△)	△417	1,069
営業外収益		
受取利息	16	30
受取配当金	13	6
持分法による投資利益	20	—
その他	64	73
営業外収益合計	115	110
営業外費用		
支払利息	94	85
為替差損	314	12
持分法による投資損失	—	55
その他	61	66
営業外費用合計	470	220
経常利益又は経常損失(△)	△772	959
特別利益		
固定資産売却益	11	16
その他	0	0
特別利益合計	12	17
特別損失		
固定資産除却損	1	3
特別退職金	—	4
その他	—	1
特別損失合計	1	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△761	967
法人税、住民税及び事業税	239	427
法人税等調整額	△14	99
法人税等合計	224	527
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△985	440
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△987	442



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△985	440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	439	73
繰延ヘッジ損益	3	△6
為替換算調整勘定	1,216	△701
退職給付に係る調整額	53	45
持分法適用会社に対する持分相当額	25	3
その他の包括利益合計	1,738	△585
四半期包括利益	752	△145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	745	△144
少数株主に係る四半期包括利益	6	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△761	967
減価償却費	1,963	2,119
のれん償却額	228	228
持分法による投資損益(△は益)	△20	55
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	△15
賞与引当金の増減額(△は減少)	△856	△990
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△39	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	8	109
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	307	△23
受取利息及び受取配当金	△30	△36
支払利息	94	85
為替差損益(△は益)	△179	△15
固定資産除却損	1	3
固定資産売却損益(△は益)	△11	△16
売上債権の増減額(△は増加)	485	119
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,850	△1,795
仕入債務の増減額(△は減少)	2,429	2,418
その他	△288	△791
小計	458	2,422
利息及び配当金の受取額	73	36
利息の支払額	△93	△83
法人税等の支払額	△124	△401
営業活動によるキャッシュ・フロー	314	1,974
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△630	△685
有形固定資産の売却による収入	14	20
無形固定資産の取得による支出	△1,596	△1,832
投資有価証券の取得による支出	△5	△6
貸付けによる支出	△7,671	△12,486
貸付金の回収による収入	11,060	14,036
定期預金の払戻による収入	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,171	△953
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△141
長期借入れによる収入	8,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,062	—
リース債務の返済による支出	△138	△170
少数株主への配当金の支払額	△40	—
自己株式の取得による支出	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△241	△313
現金及び現金同等物に係る換算差額	253	27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,498	735
現金及び現金同等物の期首残高	5,564	6,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,062	7,221

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州	欧州	アジア・ 豪州	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,917	14,889	2,730	5,065	43,603	—	43,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,352	1,320	965	13,544	25,182	△25,182	—
計	30,269	16,210	3,696	18,609	68,785	△25,182	43,603
セグメント利益又は損失(△)	△999	358	△4	78	△567	150	△417

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失であります。また、セグメント利益又は損失の調整額150百万円は、全額セグメント間取引消去であり、四半期連結損益計算書計上額と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州	欧州	アジア・ 豪州	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,733	15,305	4,634	5,480	47,154	—	47,154
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,122	1,270	827	15,288	28,507	△28,507	—
計	32,855	16,575	5,462	20,769	75,662	△28,507	47,154
セグメント利益又は損失(△)	△139	326	237	766	1,191	△121	1,069

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△121百万円は、全額セグメント間取引消去であり、四半期連結損益計算書計上額と調整を行っております。